

## ◎ 会員だより

5月号ではいつも参考にしてている技術士の合格体験記の記事が無くて、少し寂しかったです。これから自分の技術力を高め、技術士に合格した際は、「技術資格試験合格体験記」を書いてみたいです。  
匿名希望

公務員技術者の世界も技術の伝承、後進育成が喫緊の課題です。4月号の特集（技術の伝承・技術力の向上にむけて～技術・知恵の伝承～）は、先達の思いや、現役の中間・若手の技術力向上に向けた取組みなど非常に参考になる特集でした。  
匿名希望（地方整備局勤務、50）

4月号を読んで、「特集」の「下水道分野における女性の技術力向上支援の取組み」など、あまり携わったことのない分野の記事が多く、とても勉強になり、多くの新しい発見がありました。  
匿名希望（高速道路会社勤務）

「会計検査情報」は勉強になります。4月号に掲載されたボックスカルバートの地盤反力度等の確認は必要ですが、中小規模の暗渠で確認していない事例は多いかもしれません。  
匿名希望（都道府県勤務）

5月号の「表紙」の「小山市のシンボルロード「祇園城通り」は無電柱化で道路を美化し、歩道を広く使う社会実験が行われたそうですが、人が集まり、地域の活性化に繋がるといいますね。  
匿名希望（都道府県勤務）

5月号の「巻頭言」の「活性化というけれど」を拝読しました。「まちづくり」「コミュニティ」「活性化」という曖昧な言葉は、みんなが協力しなければ合意形成ができないという考えから、最大公約数の共通の言葉として必然となったという話がとても興味深いと思います。  
匿名希望

「パネルディスカッション」の「新しい時代における公務員技術者の使命」では、同じ公務員技術者として、今後の急激な時代の変化に苦慮しつつ対応していく必要性を感じている等、共感できる部分が多くありました。  
匿名希望（都道府県勤務、45）

去年盛岡市に旅行に行き、その時に川沿いのお店で美味しいご飯を食べました。その場所が5月号の「特集」の「Park-PFIを活用した公園整備（木伏緑地）」に載っており、公民連携による公園整備だということを知りました。何気なく旅行で立ち寄った場所がこのような新たなまちづくりの取り組みであることを知り感慨深いです。  
匿名希望（市町村勤務、26）

5月号の「特集」の「地域住民、事業者、行政が一体となった廃校の再生・活用」は、地元の事で興味深かったです。新型コロナウイルスの感染拡大が収束したら、一度訪ねたいと思っています。  
中平 弘満（地方整備局勤務、64）

5月号の「ひろば」の「疑問と興味」では、地方公務員として在職しながら、地道に研究活動が続けて、博士号を取得されたことが書かれていて本当に刺激的でした。  
匿名希望（市町村勤務、31）

5月号の「新技術レポート」の「改修工事現場へのVRの利用について」を読んで、VRを利用した、施工図の承認手続き実際の機械室内のメンテナンス等について掲載されていて、VRのメリットがわかりました。  
匿名希望（地方整備局勤務、34）

5月号の「地区連の頁」に掲載されていた「昭和電工ドーム大分のハイブリッド芝導入について」の記事に関心をもちました。テレビ観戦した試合のグラウンドが、こうなっていたとは知りませんでした。  
匿名希望（地方整備局勤務、48）

5月号の「建設技術者のためのこの一冊」で紹介されていた「無名碑」に描かれている物語は、新しい道路が完成した時にいつも思うこととよく似ていますね。  
赤星 文生（一般社団法人勤務、66）

私は地方整備局に勤務していますが、「災害査定」の留意点の実例に基づいた記事内容は、非常に多面的な視点から参考になります。  
匿名希望（地方整備局勤務、50）

「事例から学ぶ現場力の向上」は、教訓や対応策までわかりやすくコンパクトに解説されており、とても参考になります。  
匿名希望

新型コロナウイルス感染症が終息した暁には、先送りされているインフラ施設の老朽化対策等により、経済を活性化させる取り組みを進めていくことが必要だと思います。  
國司 哲也（市町村勤務、49）

新型コロナウイルスの感染拡大の影響で技術力向上のための研修の多くが中止になっています。こんな時こそ、自己研鑽に努め、技術士、土木施工管理技士などの資格試験に挑戦していきたいと思っています。  
匿名希望（都道府県勤務、47）

昔は仕事の忙しさに紛れて月刊「建設」をほとんど読まなかったが、最近では、毎月公共事業におけるニーズや技術の伝承など興味深い内容でとても参考になると実感しています。もっと早く気が付けば良かったです。  
匿名希望

## ◎ 「会員だより」の投稿を募集

月刊「建設」に関する意見・感想・要望、その他の全建活動（建設技術講習会、伝承プロジェクト、公務員賠償責任保険等）に関する意見・感想・要望、業務上の悩み等をお寄せください。お寄せいただいた意見等は、今後の編集等の参考にさせていただきます。月刊「建設」の「会員だより」に掲載させていただいた場合は、クオカードを進呈いたします。詳細は全建HP上のバナーをクリックするか、下記のQRコードを読み取ってください。たくさんのご応募をお待ちしております。

一般社団法人全日本建設技術協会 事業課 峯脇・中嶋  
TEL：03-3585-4546 / E-mail:kensetsu@zenken.com

